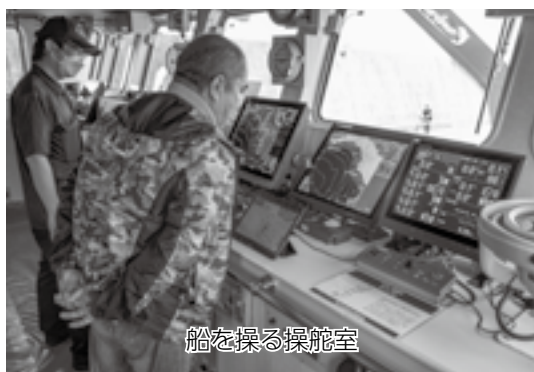


pickup news

北海道大学 最新練習船

「うしお丸三世」見学会 開催



船を操る操舵室



最新設備が並ぶ海洋観測室



大磯漁港に寄港したうしお丸三世

北 北海道大学水産学部附属練習船「うしお丸三世」の見学会が、大磯漁港で行われました。

うしお丸は、道南沿岸、津軽海峡などの海域の研究を目的に1971年に初就航しました。最新型となる三世は昨年10月に竣工。全長45・6メートル、総トン数262トン、最大33人を乗せられます。北大水産学部生と水産科学院・環境科学院の大学院生に高度な調査技術を習得してもらうため、トロール漁業や国際航海に対応。また、多数の大学や研究機関との教育・研究拠点としても運用されています。

操舵室には、最新のレーダーや計器の観測結果を映すディスプレイが並び、見学会に参加した漁業者は漁船の装備との違いなどを乗組員に質問していました。他にも海水の性質を調べる機材や機関室、学生食堂などが公開されました。学部生が町民の質問に答える場面もあり、海での生活や研究に対する意気込みを語っていました。

ワンポイント 手話



毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第55回目は建設課野田努夢です。

■問合せ 健康福祉課福祉・高齢者グループ (☎ 74-3001)

「船」



両手を湾曲させて小指側を合わせ、船を形作ります。



両手を前に進めます。